

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
海洋環境	水温・水質	海洋観測調査	産卵量調査時に水温・塩分を層別に観測	羅臼	年3-4回(2-4月)	H1年以降	H13~	羅臼漁協
		海洋環境調査	水温・塩分・流向流速・透明度などを北水試が定期海洋観測	オホーツク海(知床岬沖定線)	年5回(2月を除く偶数月)	稚内水試試験調査船北洋丸	H3~	水産林務部
		定期海洋観測(・海洋環境調査)	水温、塩分、流向、流速、透明度などを観測	オホーツク海	4、6、8、10、12月		S59~	水産林務部
		海洋観測調査(・資源評価調査[国受託])	サンマ漁期前調査の際に水温、塩分、透明度などを調査	オホーツク海	8月下旬~9月上旬		S52~	水産林務部
		深層水水温・塩分調査	汲み上げ深層水の水温・塩分を観測	羅臼	毎時	羅臼町	H13~	羅臼町
		沿岸海洋観測	水温・塩分・クロロフィルなど海洋観測ブイ設置	羅臼	通年(可能ならば流水期も)		H18~	漁協・環境省
		海洋観測調査	水温・塩分・栄養塩・プランクトン・クロロフィル	オホーツク海	年3~4回		H12~	北水研・亜寒帯海洋環境部
	流向・流速	流向・流速調査	流向・流速調査	未定	通年			北大?環境省?
流水	流水データ	海水観測データ	気象庁・海上保安庁		斜里・羅臼	月別	気象庁:1946以降	
指標種以外の生態系構成種	動物相	魚類相調査	標本調査	斜里・羅臼	随時	H6~H16調査	H13~	知床博物館
		動物プランクトン相調査	ベントス層調査	ウトロ	2月	H17予備調査	H17	国立環境研究所樋渡氏
		魚類・甲殻類生息調査	水中ロボットカメラ	羅臼陸棚	3月	科研費	H17~	北大桜井先生代表・環境省(H18)
	動物・植物相	浅海域生物相調査	魚類・ベントス・海藻・海草	ウトロ・斜里	年2~3回		H18~?	環境省
		群集構造把握調査	魚類等	ウトロ・斜里			H19~	環境省
	植物相	エジパフンユニ分布密度調査	採り法により分布密度を調査	羅臼	6-8月	採り法で植物相・分布量調査	H13~	羅臼漁協等
鯨類				随時		H16~	知床博物館	
		河川生息環境調査(・サケの自然再生産効果に関する研究)	遡上親魚数の推定、自然産卵環境の把握、降河稚魚数の推定、自然産卵及び人工孵化稚魚の河川内回帰親魚数の推定。	植別川	毎年河川への遡上時期の8月から稚魚降河時期の6月まで随時	下記ほぼ遺産地域外	H16~H22	水産林務部

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
シロサケ	河川遡上親魚鱗調査	河川に遡上して捕獲された親魚の鱗による年齢査定等	(近隣の網走川・標津川)	遡上中随時	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	継続的に毎年	水産林務部	
	沿岸来遊親魚鱗調査	沿岸で漁獲された親魚の鱗による年齢査定等	(近隣の網走地区、標津地区)	漁期中3回	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	継続的に毎年	水産林務部	
	稚魚標識放流調査	放流稚魚に標識し、3～5年後に回遊する親魚の状況を把握	(近隣の網走川・標津川)	1河川につき2カ年	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	H17年度～H19年度(予定)	水産林務部	
	親魚標識放流調査	沿岸で漁獲された親魚に標識して再放流し、数日～数週間後に採捕される状況を把握	(羅臼～近隣野付半島のうちの1カ所)	漁期中1回	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	H20年度(予定)	水産林務部	
カラフトマス	河川生息環境調査(・オホーツクサーモンの豊漁年と不漁年の集団特性に関する研究)	成魚・稚子魚に係わる生物学的特性と生態的特性、野外調査と一定環境下での飼育試験。	頓別川・斜里川・サシルイ川・湧別川	毎年 河川への遡上時期の8月から稚魚降河時期の6月まで随時		H17～H19	水産林務部	
サケ科魚類	遡上状況調査	河川別遡上状況、産卵床	遺産地域内河川	7月～	シロザケ、カラフトマス、サクラマス、(オシロコマ)	H15～	道環境生活部、環境省(H15)	
	回帰状況調査	岩尾別川・幌別川サクラマス遡上調査	岩尾別川・幌別川	年1回	サクラマス	H11～	斜里町	
	河川環境周辺への影響	安定同位体分析	岩尾別川・ルシャ川・テツパンベツ川	遡上時期		H18～	北大・環境省	
ブラウントラウト	河川生息調査	生息状況調査、食性調査、生息個体数の推定を行い、さけますの再生産への影響評価を実施。	ルシャ川、岩尾別川、ルサ川、サシルイ川、モセカルベツ川、羅臼川	各河川5月～6月と、遡上時期各1回	平成17年度の単年度調査	H17	水産林務部	
	漁獲統計調査(・漁業生物の資源・生態調査研究)(・資源評価調査[国受託])	北海道水産現勢元資料及びマリンネット北海道による月別・漁法別漁獲量を集計	羅臼漁協	適宜		S56～	水産林務部	
	生物調査(・漁業生物の資源・生態調査研究)(・資源評価調査[国受託])	漁法別・銘柄別の性別、年齢、体長、体重、生殖腺重量、成熟度などを測定	羅臼漁協	11～3月、1～2回/月		S56～	水産林務部	

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
指標種	スケトウダラ	計量魚探調査 (・漁業生物の資源・生態調査研究)	魚群の分布特性・日周移動などを調査	根室海峡		釧路水試試験調査船北辰丸	H8～	水産林務部
		漁獲統計調査 (・資源評価調査〔国受託〕)	北海道水産現勢元資料及びマリンネット北海道による月別・漁法別漁獲量を集計	斜里第一漁協 ウトロ漁協	随時	調査は今後も継続予定	S60～	水産林務部
		生物調査 (・資源評価調査〔国受託〕)	年齢、尾叉長、体重、生殖腺重量、成熟度、胃内容物を調査	網走漁協	年2回		S52～	水産林務部
		産卵量調査	プランクトンネットにより産出卵量を調査	羅臼	年2回(4-5月) (流水のため4月以降のみ)	根室海峡8地点	H13～	北水研 (水産庁の委託事業)
		卵・仔魚分布調査	リングネット(80cm)及び海洋観測	(根室海峡～道南太平洋)	5月	40地点	H13～	北水研 (水産庁の委託事業)
		オホーツク海重要底魚類生態調査	トロール、NORPAC、魚探	(オホーツク海)	5月	40地点	H13～	北水研
		繁殖行動等調査	水中ロボットカメラ	羅臼陸棚	3月	科研費	H17～	北大桜井先生代表
海獣類	海獣上陸状況調査		斜里	随時	能取岬～知床岬	H16～17	知床博物館	
トド	トド来遊及び被害実態調査	道内におけるトドによる被害状況を把握するため、漁業者の目視状況や被害状況を把握。	全道	毎年	全道の状況を把握する調査であり、漁協個別のデータの公表はしていない。	H1～	水産林務部	
	補食影響調査	捕獲個体の性別、年齢、体長、体重、成熟、胃・腸内容物などを調査	羅臼	12-3月(捕獲がある場合は6月末まで)	北海道区水産研究所 (水産庁の委託事業)	H16～	水産庁	
アザラシ	生息調査	生息状況及び漁業被害調査	羅臼	冬期		H15～	環境省(H15)、道環境生活部(H15～)	
海鳥類	ケイマフリ営巣調査	生息地・営巣地調査	斜里	夏季	福田氏のモニタリングの一部	H16	環境省	
	海鳥分布調査	生息地・営巣地調査	斜里	夏季		H13～	知床海鳥研究会	
	海鳥繁殖状況調査	半島海岸線における海鳥繁殖状況の長期的なモニタリング	斜里・羅臼	6月		H15～	海鳥類長期モニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)	

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
	海ワシ類	オオワシ・オジロワシ保護増殖事業		道東他				環境省(オオワシ・オジロワシ検討会の議論を踏まえ検討)
		営巣調査	営巣環境調査	斜里・羅臼			H16	知床博物館他
		営巣調査	オジロワシの繁殖状況に関する長期的なモニタリング調査	斜里・羅臼	通年		H15～	オジロワシモニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)
		渡り状況調査	渡り状況調査	斜里・羅臼	10-11月		H16	知床博物館他
		渡来数調査	個体数目視センサス	羅臼	12-4月	羅臼ビジターセンタースタッフにより実施	H9～	羅臼町
	利用の適正化	観光船調査	観光船の運航ルートの確認	斜里			H17	環境省
データベース化	上記各データの整理						H17～	環境省